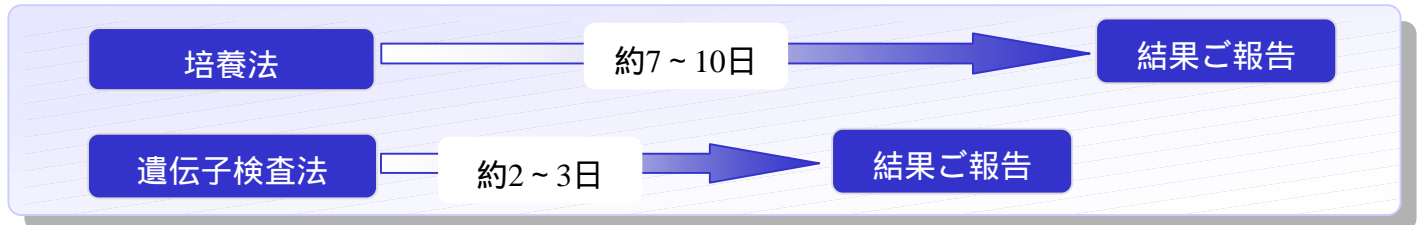


レジオネラ遺伝子検査（LAMP法）のご案内

環境水中のレジオネラ属菌遺伝子検査は、結果のご報告までに非常に日数がかかる培養法に比べて所要日数が大幅に短縮でき、なおかつ品質の高い安全管理の手法としてご提供致しております。ぜひともご利用くださいますようお願い申し上げます。



対象検体	浴槽水、冷却塔水、プール水等
使用用途	洗浄処置後の効果判定、通常の安全管理など
所要日数	検体受領後2~3日 (参考) 培養法・検体受領後7~10日
採取容器	5C (500mLハイポ入り滅菌容器)

遺伝子検査法とはどんな方法？

遺伝子検査法による
迅速検査です！
最短2日で結果報告が可能。

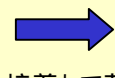
培養法(これまでの方法)のイメージ

培養法は、菌を培養する事でレジオネラを増やして見つける方法です。

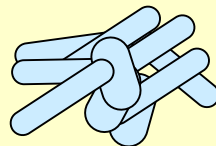
しかし、レジオネラは増やすことが難しい菌である為、培養法で発見できるようになるには約7~10日もかかってしまいます。



レジオネラ



培養して菌を増やす



菌集落(コロニー:菌の塊)ができる
= レジオネラが存在する

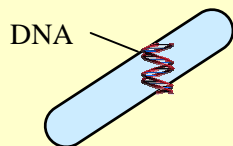
遺伝子検査法のイメージ

レジオネラは、その菌の中に遺伝子としてDNA (核酸)を持っています。

遺伝子検査法は、レジオネラが持っている特有のDNAの一部を、LAMP法*という特殊な方法で増やすことで、レジオネラの有無を確認する方法です。

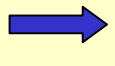
培養法と違い、これまでのように検査に時間がかからず、数時間で結果を知ることができます。

また、培養法では発見できない菌も検出できるため、これまで以上に高いレベルで衛生管理を行う事ができます。



DNA

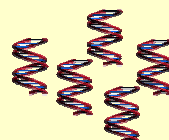
レジオネラ



DNAを
取り出す



DNAを
増やす



DNAが増えている
= レジオネラが存在する

* LAMP法: Loop-mediated Isothermal Amplification

株式会社ファルコライフサイエンス 食品衛生環境営業部

〒606-8393 京都市左京区東竹屋町通川端東入東竹屋町63番地2

TEL 075-771-9377 FAX 075-771-7477

ホームページ <http://www.falco-life.co.jp/>

E-mail: Info@falco-life.co.jp